

SHIGERU SAKAI ACTIVITIES Vol.26

酒井茂の県政だより

発行責任者：酒井 茂 〒399-4432 伊那市東春近原新田8243 TEL/FAX.0265-73-5606



9月県議会一般質問(10月4日)



免許窓口まで遠い地域にある7
交番にも運転免許自主返納窓口
を拡充した。

交通弱者対策

・ 地方都市に住む者にとっては、
自分で運転できるかどうかは
日常生活を左右する。
・ 伊那市では、AI(人工知
能)を活用し、ドアツードア
の乗合タクシーである「ぐる
っとタクシー」が運行されて
おり、市民からは大変好評で
ある。

高齢者への支援

高齢者の事故防止

Q酒井・高齢者特有の事故を防
止するために、どのような対策
を講じているのか？

A警察本部長・事故を起こした
高齢運転者に対する個別指導、
交通安全教育車を活用した交通
安全教育、安全運転サポート車
の体験乗車会の開催などを行っ
ている。

Q酒井・警察として運転免許証
を返納しやすい環境づくりのた
めに、どのような取組を行って
いるのか？

A警察本部長・
免許センターや
警察署のすべて
の免許窓口に関
係する者を配置
している。令和
2年8月からは



AIを活用した、伊那市の「ぐるっとタクシー」

要なテーマとして取り上げてい
く。
● 地域における乗り合いタクシ
ーの積極的な活用など、移動の
利便性が高まるように具体的
な対策を講じていく。

買い物弱者対策

・ 外出手段がない高齢者等にと
って、食料品や生活用品を確
実に入手できることが重要。
・ 買い物弱者対策として高い評
価を得ているのが、移動販売
車によるサービス。
・ 伊那市においては、徳島県に
本社がある「株式会社とくし
丸」が運営している「とくし
丸」の利用者が最も多い。

中山間地域に暮らし続け られる環境づくりの一つとして、 高齢者等の買い物弱者対策が重 要。買い物弱者対策に取り組む 事業者や市町村に対し、県が積 極的に支援することを提案する か？

A知事・中山間地域を多く抱
える長野県において、買い物弱
者への支援は非常に重要な課題
である。



「とくし丸」と事業者の中山さん(長谷在住)

であり、生活基盤をしっかりと確
保するために市町村と連携した
取り組みを進める。
● 買い物弱者対策については、
次期総合5か年計画の中で位置

議会委員会審査

県民文化委員会

(10月5日)

● ヤングケアラー

Q 県は県下8市町村と連携して、
ヤングケアラーに対する調査に
着手するが、8市町村以外につ
いても、早急に調査すべきで
はないか？

A 8市町村以外にも調査する意
向の団体があり、今後県下市町
村で広く調査したい。

Q 調査結果を踏まえて、今後ど
のように対応するのか？

A 調査の結果困っている子ども
に対しては、市町村や学校等と
情報共有した上で支援する。関
係機関が役割分担し、家族の介
護や通院等必要な支援を行う。

健康福祉委員会

(10月6日)

● 献血推進

・ 私は、今年6月の議会一般
質問し、県内では若年層の献
血が少なく、県立高校の献血
を進めるべきことを提案した。
Q 一般質問を受けて、県として
どう対応したのか？

A 7月に県立高校長あてに、献
血の実施等について通知。7月

付けを行い、市町村と県とで買
い物弱者をどう支えていくか検
討していく。



に県献血推進協議会(知事が会
長)の総会の席上、高校生の献
血推進について協力を依頼。令
和3年度は1校のみであったが、
今年度は5校が実施または実施
を検討中。高校における献血セ
ミナーについては、3年度実施
校がゼロであったが、今年度は
11校で実施または実施を検討中。
※ 一般質問により、ようや
く高校での献血推進の方向
が確認できました。来年度
以降は更に推進することが
期待できます。

